



そらふいあ

2017年12月発行
 淡海フィランソロビーネット・滋賀県社会福祉協議会
 〒525-0072 滋賀県草津市笠山7-8-138
 TEL: 077-567-3924、FAX: 077-567-5160
 ホームページ: http://www.shigashakyo.jp/oumi_p_net/index.html

Vol.
30

近江商人・伊藤忠兵衛の創業精神や 事業経営を学ぶ

～平成29年度 企業・団体の社会貢献活動トップセミナーの開催～

急速な少子高齢化・人口減少を背景に、地域での暮らしの継続に必要なインフラ基盤が脆弱となり、人と人との関係性が希薄になり、生きづらさ、働きづらさを抱える人が増えています。

また、経済のグローバル化による熾烈な競争は、雇用の流動化、不安定化とともに所得格差を拡大させ、「貧困」が大きな社会問題ともなっています。

これからの、地域共生と経済活力の維持・発展に向けて、自らの利益や目先の利益だけを優先するのではなく、社会全体の繁栄を考え、地域コミュニティのあり方を問い直し、次世代を担う若者・子どもが希望を持てる社会をつくっていく責任が私たちにはあります。

今回のトップセミナーでは、現在の大手商社の伊藤忠商事・丸紅の創始者で近江商人の筆頭と上げられる伊藤忠兵衛の人物像に迫り、創業精神や事業経営の考え方を学ぶことで、これからの企業のトップのあり方や企業経営のヒントを得る機会として開催します。



講師プロフィール 宇佐美 英機 氏

1951年福井県生まれ。同志社大学大学院文学研究科博士課程前期課程修了。京都大学博士（文学）。著書『近世京都の金銀出入と社会慣習』（清文堂、2008年）

『初代伊藤忠兵衛を追慕する一在りし日の父、丸紅、そして主人一』（清文堂、2012年）

『近世風俗志（守貞謾稿）』1～5（岩波文庫）など多数。

●日時 平成30年3月1日（木）
15:00～17:30

※セミナー終了後、滋賀県知事を囲む交流会を開催します。

●会場 琵琶湖ホテル（滋賀県大津市浜町2-40）

●プログラム 講演
（予定）

「初代伊藤忠兵衛と事業経営」（仮）

講師 宇佐美 英機 氏（滋賀大学特別招聘教授）

平成29年度 企業・団体の 社会貢献活動セミナー 開催報告

平成29年7月10日（日）、ライズヴィル都賀山において、『淡海の企業市民に期待される実践とは～SDGsの視点と今後の社会の変化を見通して～』をテーマに、「平成29年度企業・団体の社会貢献活動セミナー」を開催しました。

今回のテーマとなったSDGs（エス・ディー・ジーズ）とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の呼称で、2015年9月の国連総会で採択され、国連加盟国193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標であり、17の大きな目標と169のターゲットで構成されています。

滋賀県は全国の都道府県ではじめて参加の表明をしているところです。

当セミナーでは、大阪ボランティア協会・常務理事の早瀬昇氏をお招きして、SDGsの視点を踏まえた今後の企業の社会貢献活動の期待をお話いただきました。



■持続可能が厳しい今後の社会とSDGs



団塊世代が後期高齢者となる年は「2025年問題」と言われますが、後期高齢者が増えることで認知症高齢者が増加し、介護施設の需要増加に伴う介護人材が不足します。また、少子化が進展することにより年金保険・医療保険制度の持続可能性を下げ、労働者・消費者が減少することになります。

一方、気候変動に目を向けてみると、天津市の平均気温は40年間で1℃上がっているというデータがあります。ヒートアイランド現象が強い都会ではもっと上がっている実態もあります。この調子でいくと、21世紀末には最大で4.8℃上昇すると言われており、干ばつが深刻化し、風水害被害が多発する状況にならない温暖化対策が必要となってきます。

SDGsは、多様な声を取り組むプロセスを経て各国の代表者で作成されたもので、開発途上国だけではなく日本を含む全ての国に適用されることから、前身のMDGsの開発・環境・人権を継承しながら、たとえば2030年までに「貧困」をなくすことを掲げる等目標が相当上がったものになっています。

■これからの企業の社会貢献への期待

役所は「全体の奉仕者」であり公平・平等が原則ですが、企業市民活動は活動テーマは自由であり公平・平等でなくてよいのです。そして、自分のため会社のため社員のための活動であっても、開くと「公共的」になります。たとえば、趣味の美術品を公開すると美術館となり、社員の福利厚生施設のグラウンドを近所のサッカーチームに開放することで企業の社会貢献となります。

企業市民活動は自由な営み、つまり「must」ではなく「can」。テーマ、ペース、期間も多様であっていいわけです。そのような多様な企業の社会貢献活動によって、会社も社員も社会も全員がよくなる社会ができれば、持続可能な社会に一步近づいていくのではないかと思います。

■実践報告

[実践報告者]生活協同組合コープしが 福祉事業部 総括マネージャー 松田 達也 氏
旭化成住工株式会社 RC管理部 環境安全課 担当課長 松宮 秀典 氏
オプテックスグループ株式会社 グループ企画部 広報課 課長 榎 光夫 氏
[コーディネーター] 社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事 早瀬 昇 氏

生活協同組合 コープしが

● ささえあいサポート

福祉事業部 総括マネージャー 松田 達也 氏

困りごとを会員同士で助け合うという仕組みです。コープしがでは、ささえあいサポートの取り組みを、協同組合の象徴的な取り組みと位置づけ、より良い暮らしを共につくるウェルビーイングとしての福祉を目指しています。



旭化成住工株式会社

● ペットボトルキャップリサイクル活動

RC 管理部 環境安全課 担当課長 松宮 秀典 氏

当ネットでは、障害者の就労と環境保護を目的として、ペットボトルキャップリサイクル活動（以下、PCR 活動）に取り組み、弊社は当初から活動に参加しています。PCR 活動は、企業、学校等で集めたキャップを障害のある方が回収、チップ化して、リサイクルプランター等をつくり、現在は、さらに季節ごとの花を植える「HANA-WA」活動に発展してきています。



オプテックスグループ株式会社

● 琵琶湖体験学習

グループ企画部 広報課 課長 榎 光夫 氏

琵琶湖体験学習について、琵琶湖を通して環境について学び、スポーツやものづくりを体験できるプログラムを作っています。

体験を通じて、子どもたちに自然の大切さを学んでもらい、社会や人との豊かな関係を築いていける「生きる力」の獲得をしてほしいと願っています。



平成 29 年度 淡海フィランソロピーネット総会を開催しました

平成 29 年 7 月 10 日(月)、ライズヴィル都賀山において、平成 29 年度総会を開催し、2016 年度収支決算、2017 年度事業計画・予算が承認されました。(事業報告・計画等はホームページにも公開されています。)

また、設立に尽力され発展に貢献された松井佐彦相談役に対して特別功労表彰、フォレオ大津一里山様には、チャリティバザー「カレンダー」・「手帳」市への協力に対する感謝状を贈呈させていただきました。

淡海フィランソロピーネット 設立時 10 会員に感謝状を贈呈しました

20 周年記念事業として開催した「平成 28 年度企業・団体の社会貢献活動トップセミナー」において、感謝状贈呈式を行ないました。(平成 29 年 3 月 14 日、琵琶湖ホテル)

● 贈呈先 (入会順・敬称略)

白井松新薬株式会社、オプテックス株式会社、一般社団法人滋賀県労働者福祉協議会、関西電力株式会社滋賀支社、一般社団法人生命保険協会滋賀県協会、パナソニック株式会社アプライアンス社、株式会社滋賀銀行、株式会社関西アーバン銀行、生活協同組合コープしが、大阪ガス株式会社滋賀事業所



第5回 チャリティバザー 「カレンダー」・「手帳」市のご案内

- 日時 平成30年1月6日(土)・7日(日)
10:00～16:00
- 場所 フォレオ大津一里山(大津市一里山7丁目1-1)
- 趣旨 バザーの収益金で環境学習資材「栽培キット」を購入し、県内の小学校に寄贈する取り組みです。

平成29年度 淡海フィランソロピーネット 会員研修のご案内

- 日時 平成30年2月6日(火)
- 会場 小川珈琲本店
- 内容 小川珈琲(株)の社会貢献・CSR活動現場で学ぶ。

「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」が スタートしました!

地域の宝である子どもたちを、ごはんを通じて地域ぐるみで見守り育てていく、「遊べる・学べる淡海子ども食堂」の取り組みは現在県内74か所にひろがっています。この子ども食堂の継続的な運営などをバックアップし、子どもを真ん中においた地域づくりをさらにすすめるために、応援団(“子どもの笑顔”のスポンサー)をひろげる「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」が平成29年8月20日(日)、滋賀県社会福祉協議会が事務局となり立ち上がりました。



〈プロジェクトの目的〉

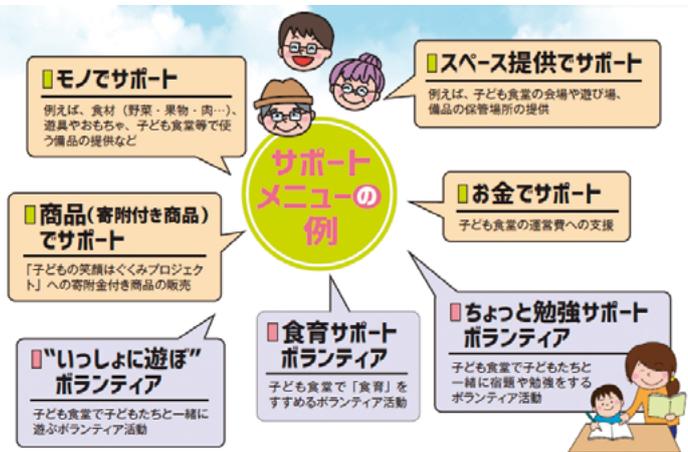
- ①子どもを真ん中においた地域づくり
- ②「遊べる・学べる淡海子ども食堂」の安定的、継続的な運営のサポート
- ③地産地消で食育・子どもの健康づくり
- ④虐待から子どもを守る
- ⑤児童養護施設等で暮らす子どもたちの社会への架け橋づくり



滋賀経済団体連合会・大道良夫会長が呼びかけ人を代表して始動宣言(8月20日キックオフ)

～“子どもの笑顔”のスポンサーを募集しています～

「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」の趣旨に賛同し、登録いただいた企業・事業所、団体や個人の方が“子どもの笑顔”のスポンサーです。子どもの笑顔のために、それぞれのできる形でのサポートを募集しています!



スポンサーからのメッセージ

株式会社 平和堂

以前から「子ども食堂」の応援を何かできないかと考えていたのですが、このプロジェクトが立ち上がったことで、具体的にサポートしていくことを決めました。

平和堂では、県内各店舗から各子ども食堂へ食材等の提供を通じて、子どもを真ん中においた地域づくりを応援します。



株式会社平和堂より寄付をいただき、贈呈式を行いました。

※淡海フィランソロピーネット会員の大阪ガス株式会社 滋賀事業所、明智榮一相談役、待文麻呂氏もご参加いただいています。